

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 303 号

令和 6 年 9 月 5 日

瀬戸市立幡山中学校



凱旋パレードの夢を託して

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

夏休みの終わりは、“迷走”台風10号が“ジョギング並み”の速さで西日本をゆっくりと縦断し、各地で土砂災害や道路冠水などを引き起こしました。この影響で、9月2日の2学期始業式が休校になる恐れもあったのですが、無事開催することができました。今回は、子ども達に始業式で伝えたことを紹介します。

出校日から早くも2週間が経ちました。この2週間、猛暑による熱中症の心配が続くと思いきや、後半は台風の影響で気温も下がり、天気を心配する日々が続きました。今日の始業式もどうなるのか心配でしたよね。こうして、40日間という長い夏休みもあっという間に終わりました。新学期に向けてのエネルギーチャージは万全ですか。

今年の夏休みの話題といえば、パリオリンピック2024が挙げられます。7月26日、セヌ川を舞台にした開会式からスタートし、世界中から多くのアスリートたちが競技に挑みました。日本人選手たちの活躍も目覚ましく、メダルを獲得した選手だけでなく、メダルに届かなかった選手たちの素晴らしいプレーにも心を奪われました。

特に印象深かったのは、試合後のインタビューで、選手自身がプレッシャーを乗り越え努力してきたにもかかわらず、まず支えてくれた家族やチーム、サポーター、ファンの方々への感謝の気持ちを表す姿です。それほどまでに、選手たちが背負っていたものは大きかったのだと感じました。私たちも、日ごろの感謝の気持ちをきちんと示すことは大切です。今日は「ありがとう」と何回言えるでしょうか。

さて、オリンピックに引き続き、「パラリンピック」が始まりました。2,3年生は1年生の時に、1年生は今年の3学期に体験するパラスポーツ「ボッチャ」は、パラリンピックの正式競技の一つです。ボッチャは、体が不自由な人のために考えられたヨーロッパ発祥の球技です。こうしたパラスポーツを体験したり、瀬戸つばき特別支援学校との交流ができたりする機会があるのは、幡山中が「福祉」をテーマにした学びを大切にしているからです。新たな出会いや発見が「福祉」を学ぶことで数多くありますよね。

パラスポーツ選手と言えば、去年の2学期始業式でも紹介した、車いすテニスの愛知県出身、小田凱人選手を覚えていますか。彼は、「病気は、乗り越えるべき壁ではなかったし、戦うべき相手でもなかった。それがあって車いすテニスができるし、世界から注目される存在にもなれた。同じような病気をもつ子どもたちに、そんなに悪いことじゃないよっていうことを、自分のプレーや発言で伝えていきたい。」と語っていましたね。このポジティブな言葉はいつ聞いても心に響きます。

小田選手は今回のパラリンピックに初出場しており、彼の名前、「凱人」の「凱」は、今回の舞台となるフランスの「凱旋門」に由来しているそうです。そのため、今回のフランス大会には特別な思いがあるとのこと、「絶対勝つぞというよりも、楽しみ。遠足に行く前の感覚に近い。いつもよりももっと楽しんでテニスをしたい。」と語っています。パラリンピックという大舞台に立つ彼のワクワク感が伝わってきます。

昨日の1日はシングルスとダブルスに出場し、見事勝利をおさめました。この後の試合も楽しみですね。ぜひ、みなさんもパラアスリートの活躍や発言に注目してみてください。きっと、今後の人生や生き方の指針となるような出会いが待っていると思います。



夏の大会・コンクール・部活動の様子

7月から8月にかけて、本校の生徒が中総体の各種大会や夏のコンクールなどに参加し、活躍しました。特にバスケットボールや剣道、卓球や柔道においては、地区大会を勝ち抜いて上位大会へと進出し、真剣勝負に臨む生徒の姿がみられました。選手のみならず、本当におつかれさまでした。



3年生 地域講師による面接指導

7月16日(火)

本年度も地域の方をお招きし、指導をいただく「地域講師面接」を行いました。義務教育の締めくくりとして、社会で必要とされる力を3年生に身につけて送り出すことを目的として毎年行っています。講師の皆さま、ご協力ありがとうございました。



職員 救急救命講習

8月1日(木)

看護師の方を講師にお招きし、職員向けの救急救命講習を行いました。119番通報から救急隊到着までの流れを、AEDと心肺蘇生を交代で行いながら確認しました。使わないことを祈りますが、大切な命を守るため、真剣に講習に取り組みました。

